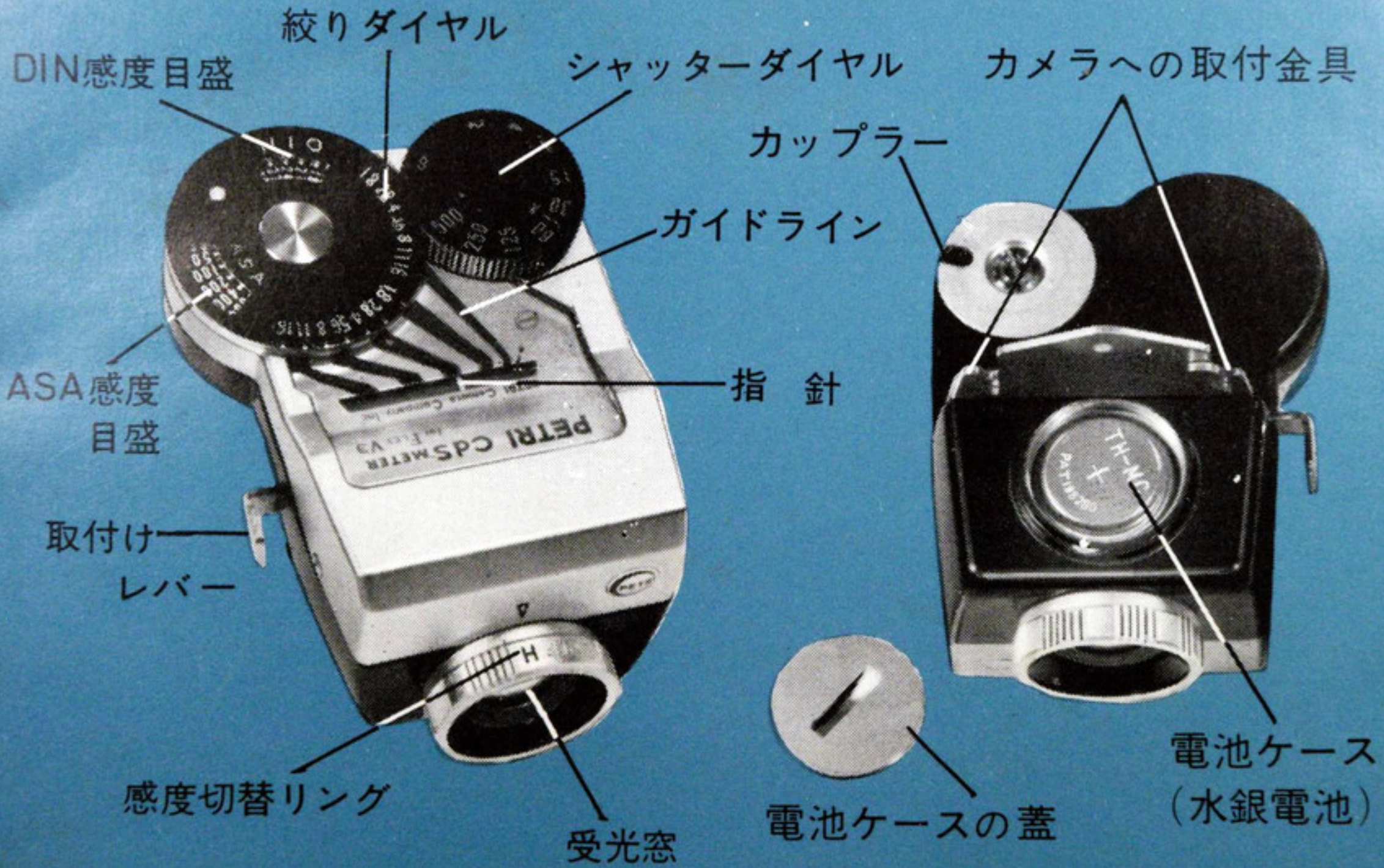




PETRI cds メーターの使い方

ペトリカメラ株式会社

東京都足立区梅田7-25-12



絞リダイヤル

DIN感度目盛

シャッターダイヤル

カメラへの取付金具

ASA感度目盛

カップラー

ガイドライン

指針

取付けレバー

感度切替リング

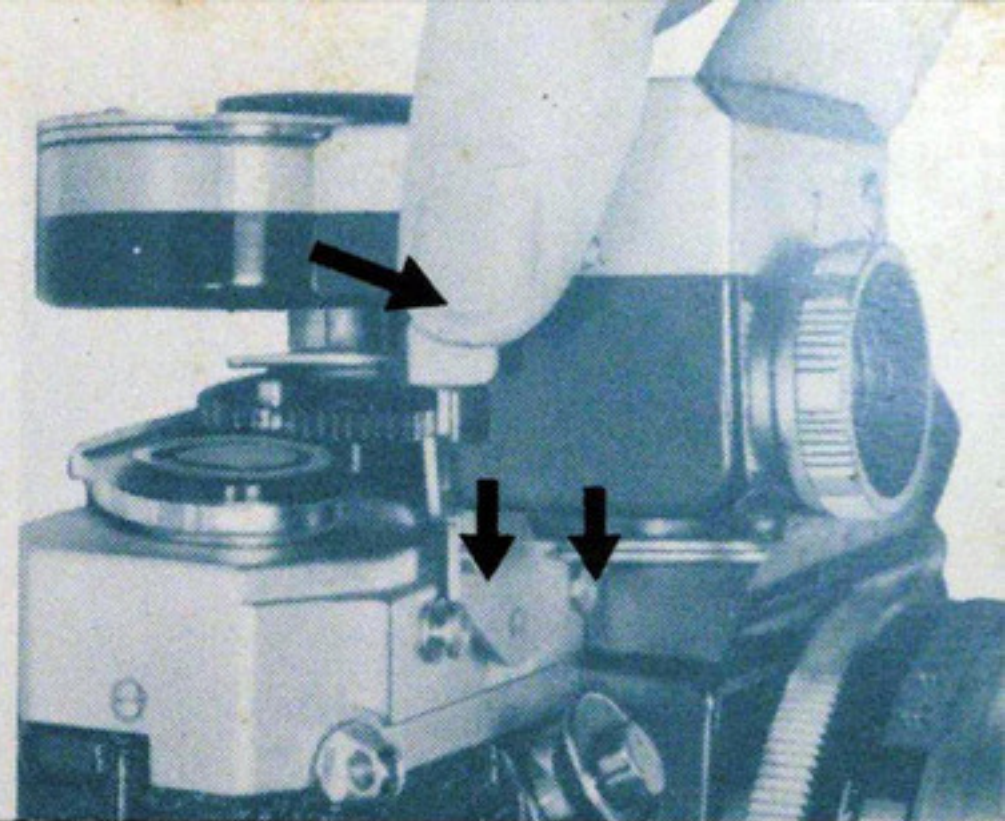
受光窓

電池ケースの蓋

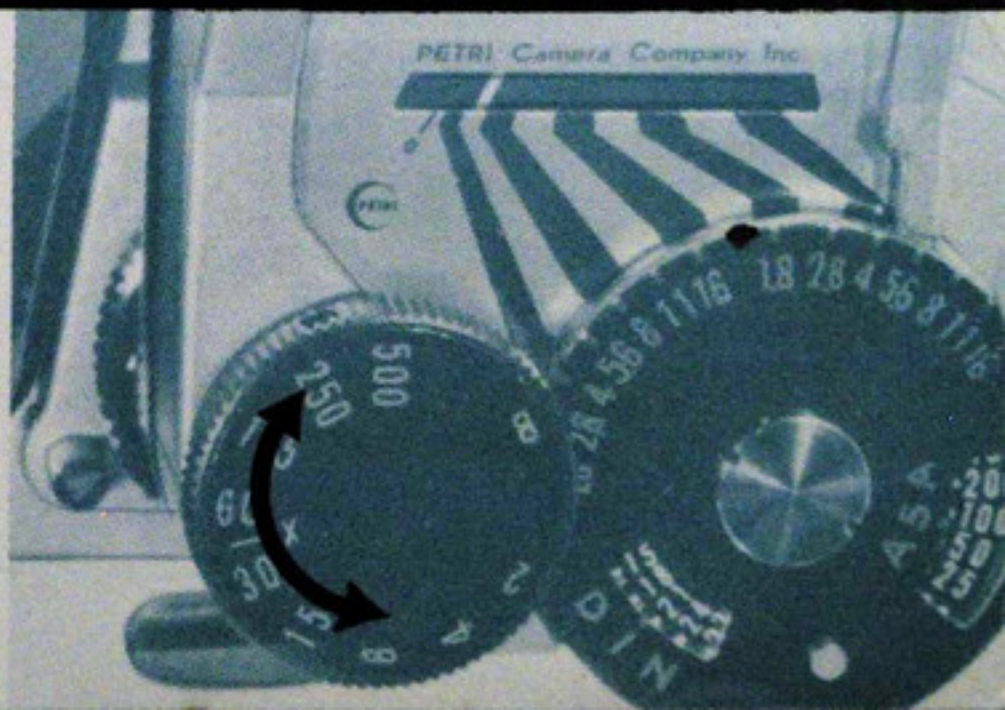
電池ケース
(水銀電池)

カメラへの取付け方

メーター側面の取付けレバーを指で押しながら、カメラのボデー前面にある取付けピンにメーター底部の取付け金具をさしこみ固定させます。

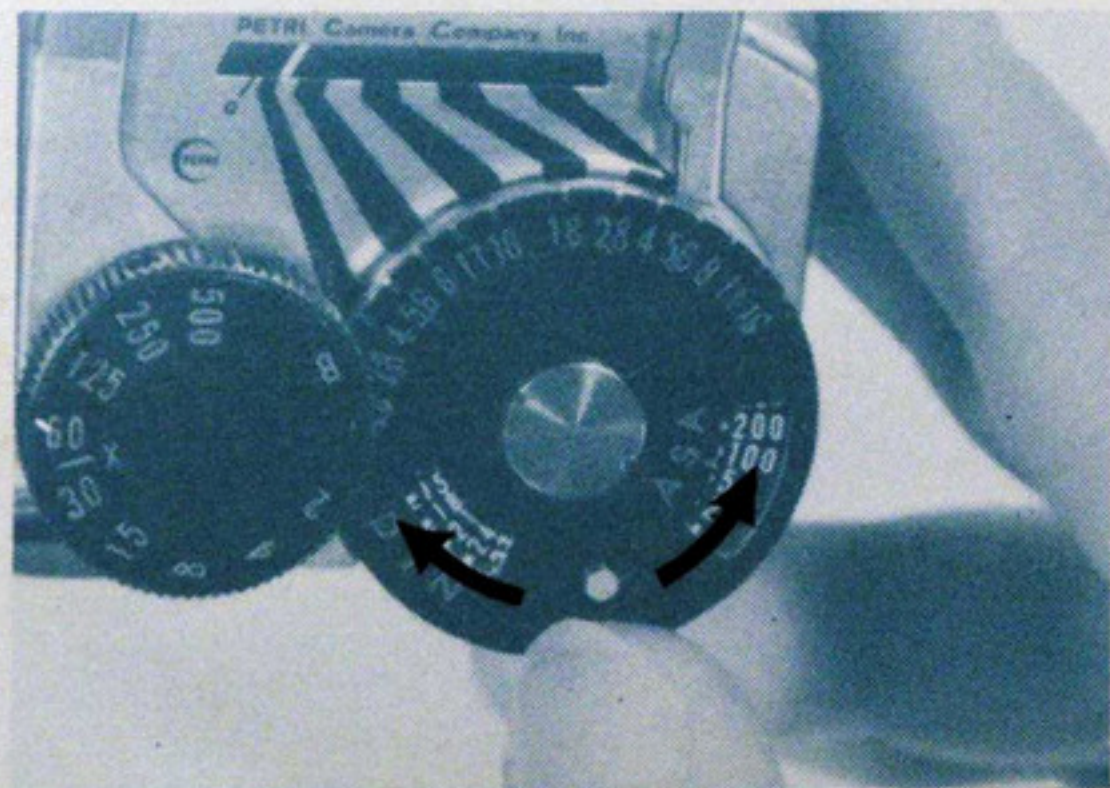


メーターのシャッターダイヤルを左右に回すと、メーター底部のカップラーとカメラのシャッターダイヤル上のピンが結合し、両方のシャッターダイヤルが連動して回ります。

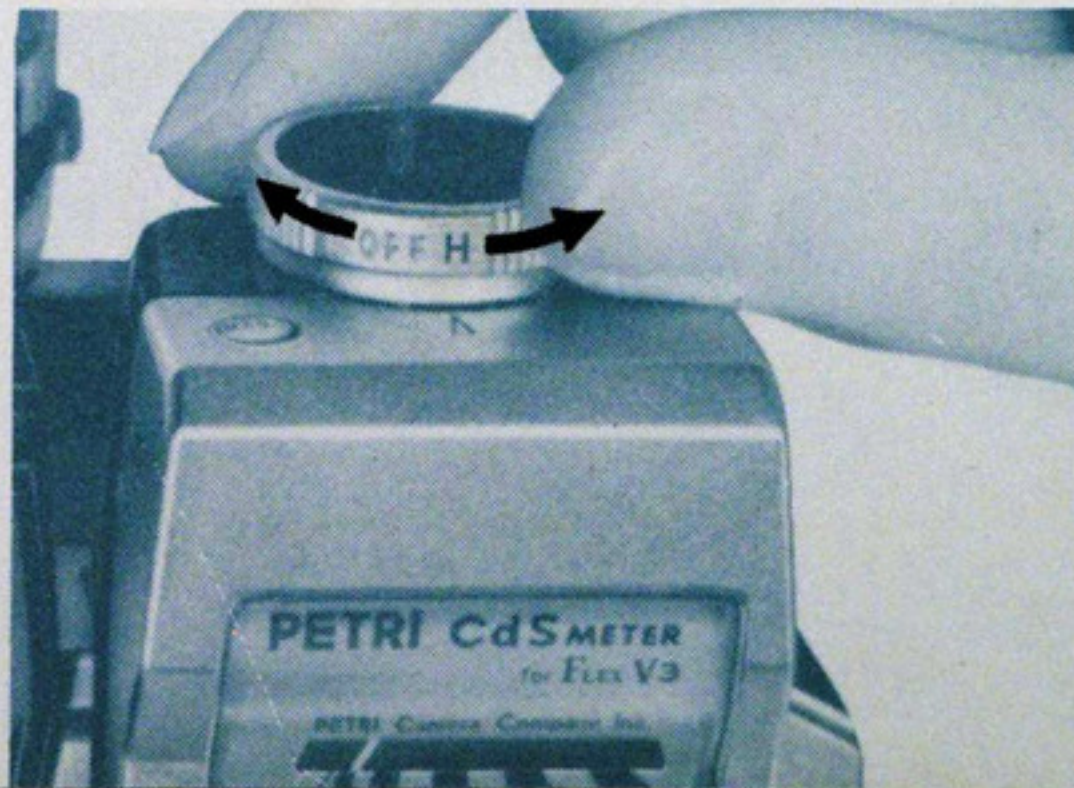


操 作

1. 絞りダイヤル上のピンに爪をかけ、ASA (DIN) 感度目盛に使用フィルムの感度を合わせます。(SSなら100)



2. 明るい被写体なら感度切替リングをHに、暗い被写体ならLに合わせます。(撮影時以外はOFFに合わせておきます。)



3. シャッターダイヤルを回し希望の速度目盛に合わせたら、ガイドラインにそって指針に対応する絞り目盛を読み、カメラ



の絞りを同じF値に絞ります。

絞り目盛は感度切替リングがHのときは白、Lのときは黄色のF値を読まなければなりません。Hで使用してメーターの指針が動かないほど暗いときはLに切替えて測ります。

4. 絞りからきめたいときは、シャッターダイヤルを回しながら希望のF値を指針に合わせた後、シャッター速度を一番近いクリック位置まで微調整します。

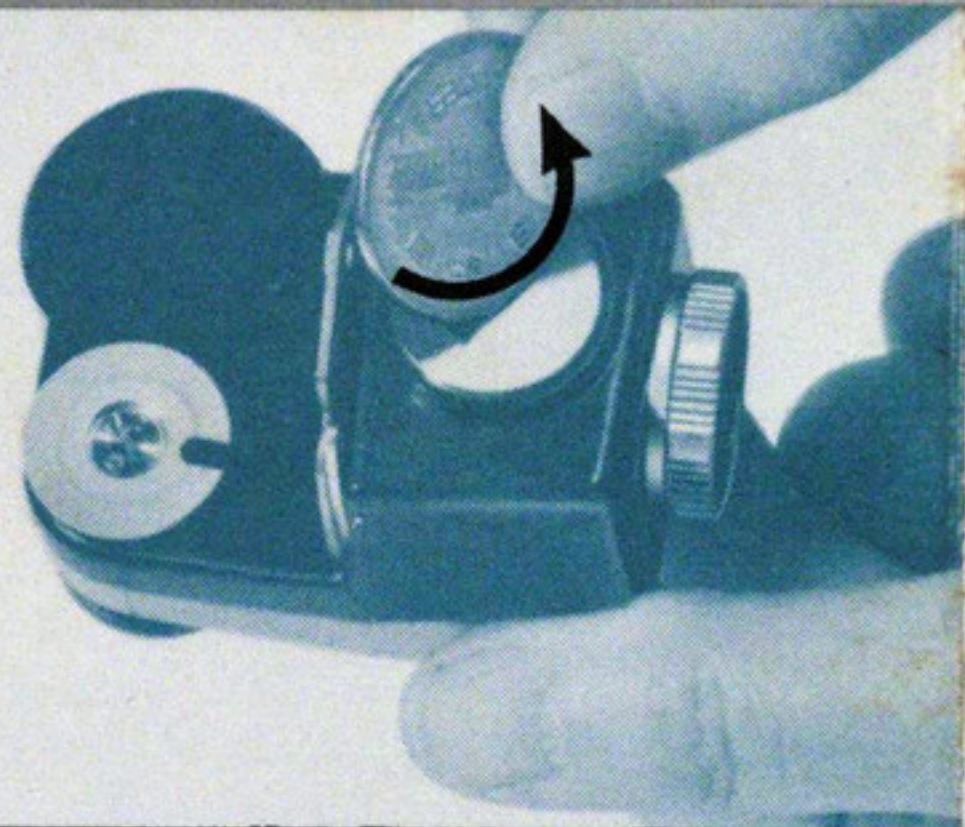
特 長

1. **小型で強力** ペトリCdSメーターは強力なCdS（硫化カドミウム）を使った高性能の電気露出計で、ペトリ一眼レフに取付ければシャッター速度に連動し、正確な露出を迅速に求められます。
2. **測光範囲が極めて広い** ASA 100のフィルム使用の場合、LV（ライトバリュー）2～LV18の広範囲の明るさ、つまり相当に暗い室内から夏の海岸のように極端に明るいものまで、すべての明るさを測定できます。
3. **受光角が狭い** 明るさを測る角度が従来のメーターより狭く、標準レンズの画角に近いので、バックなど周囲からの反射光にわずらわされず、正確な露出が得られます。

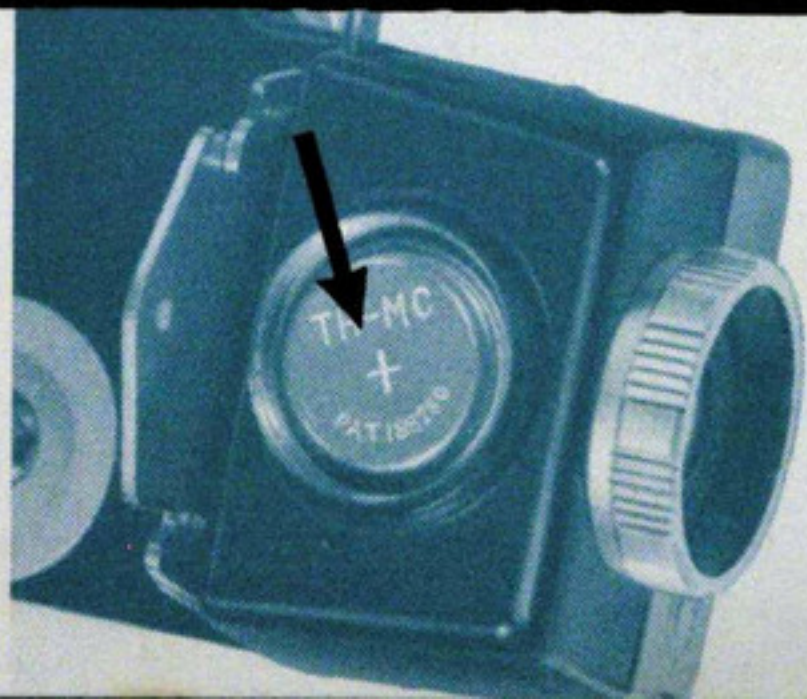
メーター **¥ 3,800** ケース **¥ 800**

水銀電池の交換

電源である水銀電池は2年位で新しいものと交換しなければなりません。メーター底部の電池ケースの蓋を10円硬貨でねじあけ、電池をとり出します。



水銀電池(ナショナルM-1D, 東芝TH-MC)は十を上にして納め蓋をします。電池の極をまちがえないように、必ず電池の十側とケースの蓋(裏側に十のマークがある)側を一致させてください。



測り方

人物では



空バックや雪上の人物などをカメラ位置で測ると、バックの影響でメーターが感じ過ぎ人物に対して露出不足になりやすいので、こうしたおそれのあるときは人物に近づいて測ります。

風景では



広い風景、空の多い風景では、メーターをやや下向きにして空からの光をさえぎって測ります。山頂などでは測定値を $\frac{1}{2}$ にきりつめます。コントラストの強い風景は測定値より余分に露出をかけます。

逆光では



逆光撮影で人物などを明るく写したいときは被写体に近づき、影を中心に測ります。また、シルエットにしたいときはバックに合わせます。バックからの光が受光窓に入らないように注意しましょう。